本宮市行政評価システム											
評価対	対象年度: 平	^Z 成 19 年度	1	平成20年度事務事業評価表					管理	双20 <u>千7月</u> 5-8-1	
		処理施設整備	事業						部等名	企業	局
予算 会計 科目コード			ード	予算細目名	<mark>名 下水道施設整備事業</mark>				課等名	上下水	道課
科目	公共下	07-020101002		細々目名	細々目名			係 等 名	下水化	係	
政策	基本目標 5 安全・安心な環境の			Dまちづく!	J						
体系		策 8 下水道等の整備									
	基本事業名	1 公共下水	《道の整備	(雨水)							
-	事業概要 ・ 1. 雨水排水路の改良 2. 排水ポンプ場の新・増設 実施内容										
根拠法令等				Ę	事業の種類 評価区分	□ 維持管理事 □ 事前評価			≝	也事業	
重点	事業区分	□重点事業	事業実施	<mark>期間</mark> 、	/ 継続	□単年		限定(年度	~ 年	F度)
	1 報酬	重点事業	F	11 需要費	<u> </u>	┊ □単年	:度 期間 134,766 円 15	限定(工事請	年度		,250 円
	1 報酬 7 賃金	□重点事業	F	円 11 需要費 円 12 役務費	ł	□単年	度 期間 134,766円 15 33,360円 18	限定(工事請 備品購	年度 負費 入費		,250 円
	1 報酬 7 賃金 8 報償費	□重点事業	F F	円 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料	<u> </u>		度 期間 134,766円 15 33,360円 18 円 19	限定(工事請 備品購 _{負担金衫}	年度 負費 入費 輔助及び交付金	30,434	·,250 円 円
決算額	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費		F F	円 11 需要費 円 12 役務費	<u> </u>		度 期間 134,766円 15 33,360円 18	限定(工事請 備品購	年度 負費 入費	30,434	,250 円
決 算 額 1.	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費	!状把握(Do)	F F	円 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料	<u> </u>		度 期間 134,766円 15 33,360円 18 円 19	限定(工事請 備品購 _{負担金衫}	年度 負費 入費 輔助及び交付金	30,434	·,250 円 円
決算額 1. (1)	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の現	状把握(Do) 的と手段	F F	円 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料	<u> </u>		度 期間 134,766円 15 33,360円 18 円 19	限定(工事請 備品購 _{負担金衫}	年度 負費 入費 輔助及び交付金	30,434	·,250 円 円
決算額 1 . ⁴ (1) ¹ 対象	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の現 (誰を、何を	状把握(Do) 的と手段	F F	円 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料	<u> </u>	————————————————————————————————————	接 期間 134,766 円 15 33,360 円 18 円 19 537,490 円	限定(工事請購 負担金社 合	年度 負費 入費 補助及び交付金 計	30,434	,250 円 円 円 ,866 円
注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の 現 事務事業の目 (誰を、何を 等の恐れのあ	状把握(Do) 的と手段 	F F F	円 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料	<u> </u>	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	接 期間 134,766円 15 33,360円 18 円 19 537,490円	限定(工事請 備品購 負担金社 合	年度 負費 入費 補助及び交付金 計	30,434	,250 円 円 円 ,866 円
決算額1対象受力手段・排力	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の (誰を、何を 等の恐れのあ (事業の (事整備箇所	状把握(Do) 的と手段 	F F F	円 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料	<u> </u>	活動指標名 指標 名称	接 期間 134,766 円 15 33,360 円 18 円 19 537,490 円	限定(工事請 備品購 負担金社 合	年度 負費 入費 補助及び交付金 計	30,434	,250 円 円 円 ,866 円
決算額1対象対表手排手・・・	1 報酬 7 個 8 報費 9 旅費 9 旅事業の目 (誰を、何を 所の (事路と、のの ののので (事路と、ののののので (事路と、ののののので (事路と、のののののののののので (事路と、のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	状把握(Do) 的と手段 	[等] 	四 11 需要費用 12 役務費用 13 委託料用 14 使用料	<u> </u>	活動指標名 指標 (1) 式	接 134,766 円 15 33,360 円 18 円 19 537,490 円 ・式(アウトプ 幹線排水路整備	限定(工事請開本) 日本	年度 負費 入費 補助及び交付金 計	30,434	,250 円 円 円 ,866 円
決算額1対象対表手排手・・・	1 報酬 7 個 8 報費 9 旅費 9 旅事業の目 (誰を、何を 所の (事路と、のの ののので (事路と、ののののので (事路と、ののののので (事路と、のののののののののので (事路と、のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	状把握(Do) 的と手段 	[等] 	四 11 需要費用 12 役務費用 13 委託料用 14 使用料	<u> </u>		接 期間 134,766円 15 33,360円 18 円 19 537,490円	限定(工事請開本) 日本	年度 負費 入費 補助及び交付金 計	30,434	,250 円 円 円 ,866 円
決算額1対浸手・・・・手・・・・	1 報酬 7 報酬金 8 報貨費 9 旅事業の現 事務事業のの (本の事務の事業のの (本の事務の事業のの事務を表する。) (本の事務のの事務を表する。) (本の事務のの事務を表する。) (本の事務のの事務を表する。) (本の事務の事業のの事務を表する。) (本の事務の事業のの事務を表する。) (本の事務の事業のの事務を表する。) (本の事務の事業の事業のの事務を表する。) (本の事務の事業のの事務を表する。) (本の事務の事業のの事務を表する。) (本の事務の事業の事業の事務を表する。) (本の事務の事業の事業の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業を表する。) (本の事務の事業の事業を表する。) (本の事務の事業を表する。) (本の事を表 を表 を	状把握(Do) 的と手段 う る地区の市民 の決定 金及び発注 工検査、工事語	等) 言請事務等 主事務 責負費の支持	四 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料 円 14 使用料	<u> </u>	活動指標名	度 期間 134,766円 15 33,360円 18 円 19 537,490円 ・式(アウトプ 幹線排水路整体 排水ポンプ場間	限定(事請 負担金 イマン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン チョン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラ	年度 負費 入費 輔助及び交付金 計	30,434 31,139 きさを表す	,250 円 円 円,866 円
決算額 1 対浸 手・・・・ 意図	1 報酬 7 報酬金 8 報貨 9 旅事業の現 5 務事 6 か 7 8 報貨 7 8 報貨 8 報費 9 旅事業の現 9 旅事業のの 9 能を恐いの 9 のの 9 上のの 9 本のの 9 はでいる。 1 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 2 のののである。 3 のののである。 4 ののののである。 5 ののののである。 6 ののののである。 7 ののののである。 8 ののののである。 8 のののののである。 9 ののののである。 1 ののののである。 1 ののののである。 2 ののののである。 3 ののののである。 4 のののののである。 5 ののののである。 6 ののののである。 7 ののののである。 8 のののである。 9 のののである。 9 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 1 のののである。 1 ののである。 1 ののである。 1 ののである。 2 ののである。 3 ののである。 4 ののである。 5 ののである。 6 ののである。 7 ののである。 8 ののである。 9 ののである。 9 ののである。 1 ののである。 	状把握(Do) 的と手段 	等) =請事務等 主事務 =負費の支払	四 11 需要費 円 12 役務費 円 13 委託料 円 14 使用料	<u> </u>	活動指標名	接 134,766 円 15 33,360 円 18 円 19 537,490 円 ・式(アウトプ 幹線排水路整備	限定(事請 負担金 イマン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン チョン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラン カラ	年度 負費 入費 補助及び交付金 計	30,434 31,139 きさを表す	,250 円 円 円,866 円

(2)指標・総事業費の推移

	-/-									
			区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
	活動指標(1)		m				4,440	4,600		
指	i	活動指標(2)		箇所				6	6	
標		成果指標(1)		%				58.71	60.82	
	成果指標(2)		%				85.71	85.71		
		財	国・県支出金	千円				15,600	24,440	
	事	源	地方債	千円				12,960	20,304	
投	業	内	その他	千円						
	費	訳	一般財源	千円				2,580	3,330	
入			事業費計(A)	千円		0		31,140	48,074	
	人		職員数	人				0.5	0.5	
量		人	件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
	費		人件費計 (B)	千円	0	0	0	4,187	4,187	
		総	事業費 (A+B)	千円		0		35,327	52,261	

指標

(1)

指標

(2)

<mark>名称</mark> 排水路整備率

名称 排水ポンプ場整備率

式 整備箇所/計画箇所(7箇所)

幹線排水路整備済延長/幹線排水路計画延長(7,563m)

(3)事務事業の環境変化・市民の意見等

事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢) はどう変わりましたか?

事業開始時期より、水路完成の姿が見えてくるに従い地元住民からの期待は大きい。また、左岸築堤事業が具体的に始まっ たため、それに伴う雨水管渠、雨水ポンプ場の整備等の事業の実施が早急に求められている。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

地元住民からは、現在の事業ペースよりも早期に完了できないかとの要望がある。

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか 浸水被害の無い快適な環境のまちづくり

本宮市行政評価システム **2 . 事務事業の評価 (Check)**

	[目的妥当性評価]							
	施策体系との整合性	市が行なう必要性		対象・意図の妥当性				
	☑有 【理由 】	✓ 有 【理由		☑有 【理由 】				
	□ 無 【理由 , 改革改善案	一無 【理由	」 、 改革改善案へ	□無【理由 , 改革改善案へ】				
	施設の整備は、浸水被害の解消であ	公共の事業であり	、市が行う必要があ	施設の整備は、市民全体を浸水被害か				
	る。	る。		ら守ることになる。				
		「右な	か性評価]	1				
評	成果の向上余地	事業の中止・廃止		類似事業との統廃合の可能性				
AL	▽有 【理由 , 改革改善案			□有 【理由 , 改革改善案へ】				
価	無【理由】	無【理曲						
	国が実施する阿武隈川左岸築堤工事	II.	·					
結	合わせて、本市の雨水計画の見直し	,を 温水油宝銀当年次	が遅れることにな					
果	行うことで、より万全な安全対策が	`舑 っ	が遅れることにな	類似事業は無し。				
*	じられ、市民を浸水等の災害から守	36 3°						
	ことが出来る。							
				[公平性評価]				
	事業費の削減余地	人件費の削減余地		受益者負担の適正化余地				
	□ 有 【理由 , 改革改善案	_ =						
	☑無 【理由 】	✓無【理由	1	☑ ─ ☑ 無 【理由 】				
		光の目にして、エ	東の割割から中代後					
	排水路に再生材等を使用しコストを		事の設計から完成後 務まであり適正であ	受益者負担は無い。				
	げてきている。	る。	わるてのう旭正での	文血百页1216無71。				
3 .	平価結果の総括と今後の方向性			II .				
	1 次評価者としての評価結果		(2)全体総括(抗	長り返り、反省点)				
(. /	目的妥当性 / 適切	見直し余地がある						
	——————————————————————————————————————	見直し余地がある		非水ポンプ場を建設し、雨水幹線も				
	効率性 「一適切」	見直し余地がある		いる。しかし、100%の浸水解消と				
	公平性 ② 適切	見直し余地がある	はなっていない	•				
(3)	今後の事業の方向性		<u> </u>	(5)改革・改善による期待成果				
	□廃止 □休止	■事業の統廃合	✓ 目的再設定	廃止・休止の場合は記入不要				
	□ ・・・ □ ・・ □ ・・ □ □ ・・ □ □ ・・ □ □ ・・ □ □ ・ □ □ ・ □ □ ・ □ □ ・ □ □ ・ □ □ ・ □	事業のやり方改善		コスト				
	■事業のやり方改善(公平性改善)	現状維持(従来の	通りで特に改革改善した	い) 削減 維持 増加				
(4)2								
阳市	弐隈川左岸築堤工事との調整をスム-	- ズに進めるため、市(則で基本設計を宝施す	λί. (A.1+)				
	が進める阿武隈川左岸築堤工事に合札							
	所の見直し等)							
(6)	牧革改善を実現する上での解決すべ	き課題と解決策						
左岸第	^{換堤の実施に伴う雨水管渠、雨水ポン}	ノプ場の整備等の事業	が発生してきたが、財	政健全化計画とも整合性をとりながら				
事業を	を進めるためには、汚水処理施設整体	#事業の縮小、または 	市全体の公共事業の見	直しが必要である。				
4 =	「数事光の3次部体は甲	() \h-\ta\(\pi \)	225-77-1-5-1-5-1-1					
		△2次評価対象	」2次評価対象外	ᆲᄥᅡᄧᄜᄼ				
(1)	2 次評価者としての評価結果	日本 人地がもっ	(2)評価結果の相					
	目的妥当性	」見直し余地がある フロネレ会地がある		堤基本計画策定に伴い、有効性に見				
		∕」見直し余地がある	直し余地がある					
	効率性 「一」適切 し	」見直し余地がある □見直し余地がある		は、国の基準があるため、工事規模				
(2)	公平性 ✓ 適切	」兄旦∪ホ地かの3	I LEIDING STEET	-				
(3)今後の事業の方向性(改革改善案)								
□ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のが成合 □ □ 事業のが成合 □ □ 事業のやり方改善(対変性改善) □ コスト								
1				向上 成				
				果解村				
1				低下				
(5) 2	その他、2次評価会議で指摘された事	【陌	<u></u>					
(♥) ♥♥/回、 *//								
成果指標を事業目的にあった「浸水危険区域面積の減少」へ見直す必要がある。								